

令和5年度 第1回名取市中小企業・小規模企業振興会議 会議録

- 1 日 時 令和5年7月11日（火）10：30～12：00
- 2 場 所 名取市役所6階第1会議室
- 3 出席者 委員8名（欠席3名） ※詳細は別添委員名簿参照
事務局員3名
※生活経済部商工観光課：渡邊課長、松浦主幹兼係長、工藤主査

4 概 要

- (1) 開 会 （進行：事務局）
挨 拶 （委員長）

- (2) 議 題

- ①令和4年度中小企業・小規模企業振興施策実施結果について
- ②令和5年度名取市地域応援プレミアム商品券事業について
- ③新たな中小企業・小規模企業振興施策について（輸出支援策）
- ④その他

- (3) 閉 会

【議題について】

- ①令和4年度中小企業・小規模企業振興施策実施結果について（資料1参照）
事務局より、資料に基づき実施結果を説明した。

<委員からの意見・質疑>

- (委 員) 産学官連携等促進事業の「とびだせ！閑上しらすプロジェクト」について、漁場の影響などにより安定的にしらすが取れないこともある。閑上しらすの知名度が上がっても商品を供給出来ないという状況も想定されるので、その点も留意の上、本事業に取り組んでもらいたい。

- (委 員) 以前、商工会において実施していたブランドコンテストでも、安定して供給出来ないことが課題となった製品があった。名取ブランドの特産品を普及・拡大していく上で、地域でとれたものに限定するのではなく、他自治体のブランド特産品の事例も参考にしながら柔軟に考えても良いのではないか。

- (委 員) 事務局より9つの事業について説明があったが、令和4年度をもって終了した施策もあり、資料上では令和5年度の施策数が減少して

いるように見える。

- (事務局) 新型コロナウイルス感染症対応として、令和4年度まで実施した事業もある点、ご理解いただきたい。
- (委員) 会議における議論のための資料もそうだが、中小企業・小規模企業の支援体制を明確に示していくと良いのではないか。
- (委員) 農産品の販路開拓という観点で、埼玉県で西洋野菜の栽培方法の指導から、販路（レストラン等）のマッチングまで一環して取り組んでいる事例がある。農産品は直売や道の駅などの販路があるが、大半は市場で流通している。物価が上がっている中で、農産物の市場価格は上がらず、事業者は厳しい状況にあることから、販路マッチングによる販路開拓の取り組みがあっても良いのではないか。
- (委員) 名取のせりについても、ブランド化した後、どうやって販売していくかという課題がある。販路開拓に関して、行政においても商工業担当課と農林水産業担当課が一緒に取り組んでいくことも必要ではないか。
- (委員長) 事業者も同様に考えており、以前には商工会とJAが連携して事業に取り組むという計画もあった。
- (委員) 各委員から様々な意見があり、このように個人が持つ情報を出し合い、共有することは意義があると考えます。その観点で、例えば、先ほど意見として挙げたブランドコンテストのような取り組みを軸として、産学官連携や販路開拓へつなげるといった事業があると良い。

②令和5年度名取市地域応援プレミアム商品券事業について（資料2参照）
事務局より、資料に基づき事業内容を説明した。

<委員からの意見・質疑>
なし

③新たな中小企業・小規模企業振興施策について（輸出支援策）（資料3参照）

事務局より資料に基づき輸出支援策について説明した。

<委員からの意見・質疑>

- (委員) 支援対象事業者について、例えば、海外で開催される展示会に参加するための通訳の確保や、輸出に必要な数量の確保など、一社

単独で取り組むことが難しい場合、複数社で組織する組合として取り組むことがあることから、対象事業者の範囲についても検討してもらいたい。

(事務局) 今後、事務局においても輸出に係る知見を深めながら、対象事業者の範囲を含め支援策の内容について検討を進めたい。

(委員長) 今月末に商工会において海外販路開拓セミナーを開催する。輸出の流れや、商社の役割などを学ぶ機会として、委員にも参加いただきたい。

(委員) 輸出に取り組んでいく上で、ジェトロを活用すること、例えば、市内の公民館などに事業者が集まり、ジェトロを交えて、勉強会を開催するといった取り組みを補助するなど、事業者が輸出について考えるきっかけを提供することも必要ではないか。

(事務局) 昨年度開催した立地企業懇談会でジェトロ仙台所長を講師に迎え、講演いただいている。今年度も同様に市内事業者を対象とした勉強会を開催したいと考えている。

(委員) 海外の商談会等へ出店するための広報・宣伝活動費に限らず、自社製品を海外のバイヤー等に紹介するためのホームページやYouTube制作なども助成対象になると良い。

(事務局) 先日、ジェトロ仙台を訪問した際、ジェトロでは海外バイヤー向けのECサイトを運営しているが、同サイトに情報を掲載している事業者の中で、パンフレットやホームページを英語等に翻訳するための経費に対して補助があれば良いというニーズがあるという話を伺った。委員からのご意見を踏まえ、補助対象経費についても、今後、検討していきたい。

(委員) 他自治体の支援施策では対象業種を限定する、販路開拓の重点地域を定めるなどの事例があり、名取市において支援施策を検討する上でもコンセプトを明確にした方が良い。

(委員) 事業者にとって補助制度があることもありがたいが、相談・サポート窓口があるとなお良い。

(委員) 野菜などの生鮮品は輸出に向かず、一次加工や二次加工が必要となる。販路開拓を進める上では、加工品の製造を事業者へ促していく取り組みも必要ではないか。

(委員) 生鮮品の中でも、例えば、市の特産品であるメロンなどは収穫後に、一週間程度追熟した頃が食べ頃となる。この点を活かして、市内で生産した産品を海外へ輸出すること、数量が少ないことも視点を変えれば、価値があるものとして海外で販売することが出来ると良い。

④その他

<委員からの意見・質疑>

なし

以 上